

新年のご挨拶

理事長・病院長 大川 博樹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスが我が国に到来してから、早くも3年目になります。当院では、これまでにクラスターは起きていません。ただ、感染予防の観点から患者様との面会が大きく制限されてしまいました。オンライン面会は行われていますが、その回数などにおいては未だ改善すべき点があります。そのため、当院では面会の在り方を検討する委員会において、直接面会の再開に向けて準備を進めています。

ただし、それもひとたびオミクロン株が流行したなら、慎重にならざるを得なくなるでしょう。小樽市内の医療機関においては、急性期病院で面会はほぼ原則的に禁止されています。療養病院では、ワクチン接種などの条件のもとに、面会許可を出しているところもあるようです。当院においても、ワクチン接種は直接面会のための主要な条件になります。ただ、新型コロナウイルスが始まる以前と同じような形態での比較的自由な面会は、今後は難しいと思います。

新年から当院スタッフのユニフォームが一新されました。従来は、職種によって色や形が異なっていましたが、今回から全員同じユニフォームになりました。ただ、上着の色は二色あります。これは、「チーム医療」へ向けての取り組みの一環として、ユニフォームを選定した結果です。各職種の垣根にとらわれず、患者様を中心としてチームで力を合わせてケアに取り組もうという志を、より強く意識する目的があります。一見、誰がどの職種なのか分かりにくいかもしれませんが、わからないときは聞いてください。そこに、なんらかのコミュニケーションが生まれるのも悪くないことです。

小樽市にとって、オミクロン株が今後どのぐらいの脅威になるのかは、なかなか推測しにくいことです。また、いつまでこのような状況が続くのかも不明です。今できることは、ワクチン接種を筆頭に、マスク、手洗い、換気、三密を避けることなど、今まで言われてきたことに尽きます。当院も、今までの感染予防対策を気を抜かずさらに厳重に行っていきます。

あらためて、皆様のご健康とご多幸をお祈りして、今年のご挨拶にさせていただきます。



クリスマス会

去年は実施できなかった「クリスマス会」、今年は感染対策をとりながら通所リハビリテーションすまいるにて行いました。

可愛らしい衣装を着て元気いっぱい、青い鳥保育園の園児にお遊戯を披露していただきました。



12月 クリスマスの行事

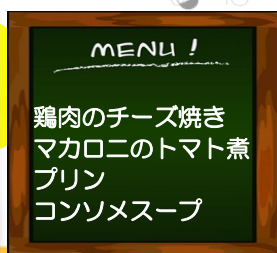
通所すまいるの昼食

星の形をかたどったコロッケや色とりどりのゼリーなど華やかなメニューとなりました



入院患者様と通所リハビリのご利用者様に『クリスマス』らしい華やかな盛り付けでお食事を楽しんでいただきました♪

病棟の食事



南小樽病院神社

新しい年の始まりです。今年も1階ロビー前に、スタッフが手作りをした鳥居や入院患者様が作成した絵馬を飾っております。



新入職員のご紹介

2階病棟 介護職員 まるやま ひとみ
丸山 瞳

12/6付で2階病棟に入職致しました丸山 瞳と申します。今までさまざまな介護の現場で培った経験を活かし、患者様にとってきめ細かいケアが出来るよう笑顔で日々頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



☎ (0134) 21-2333(代)
<http://minamiotaru-hospital.com>
E-mail : info@seiyukai-gr.jp



医療法人社団 青優会
南小樽病院